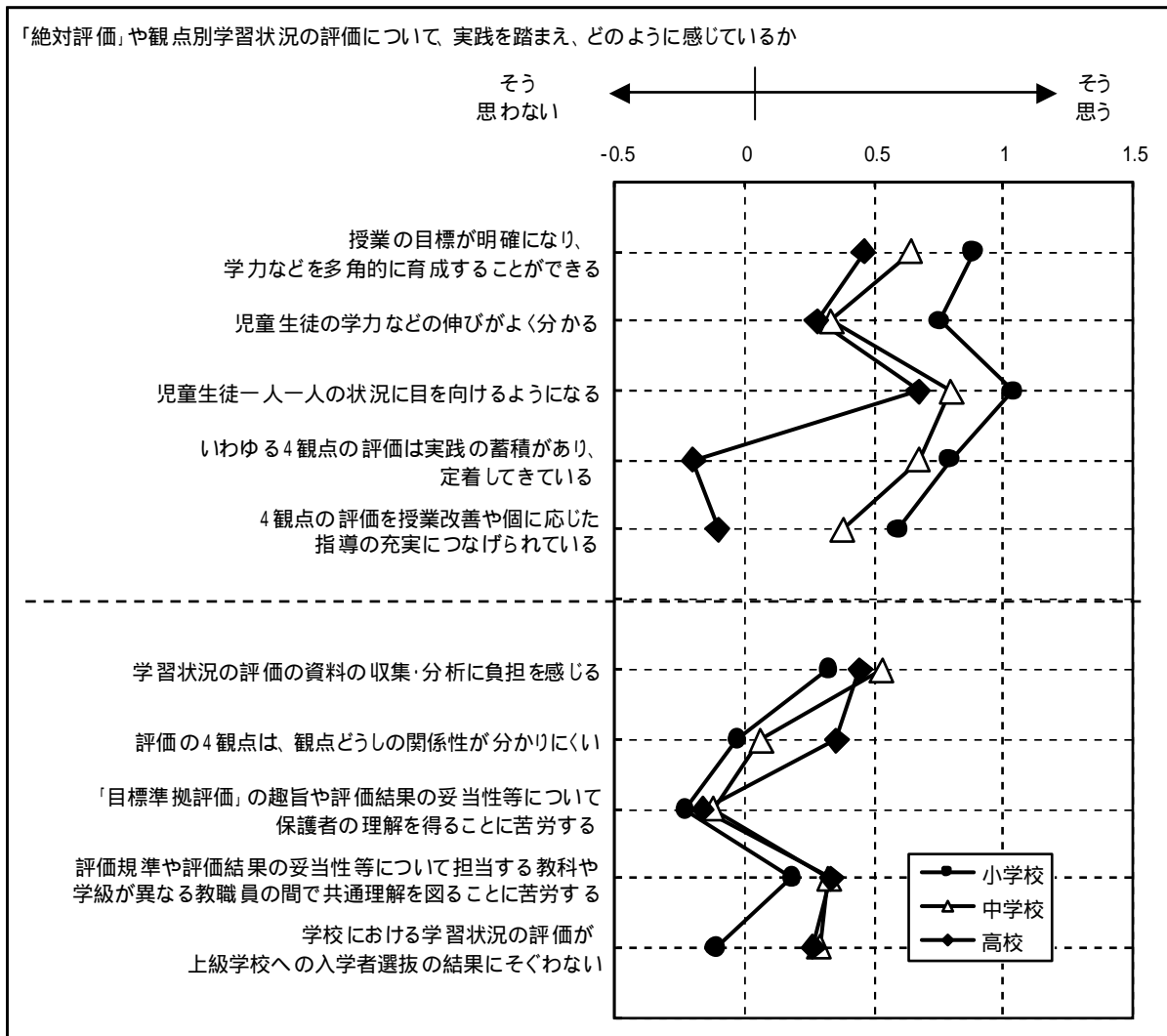


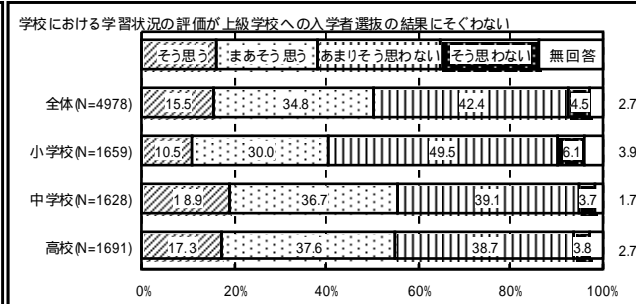
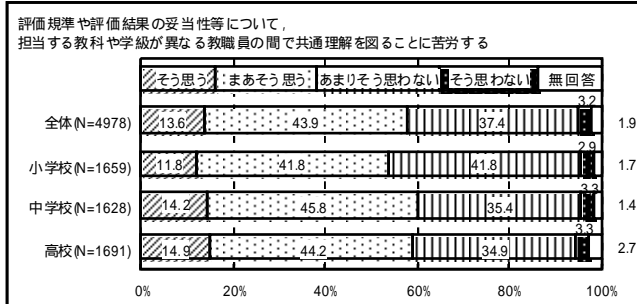
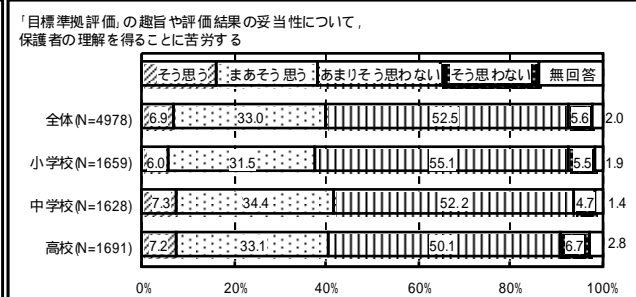
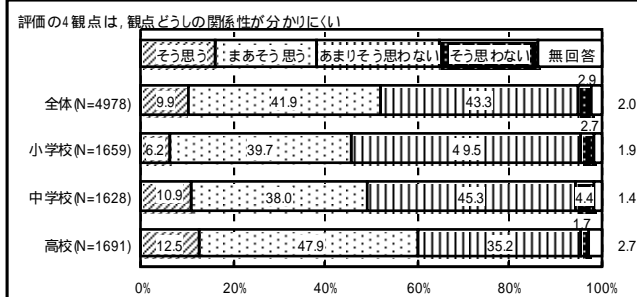
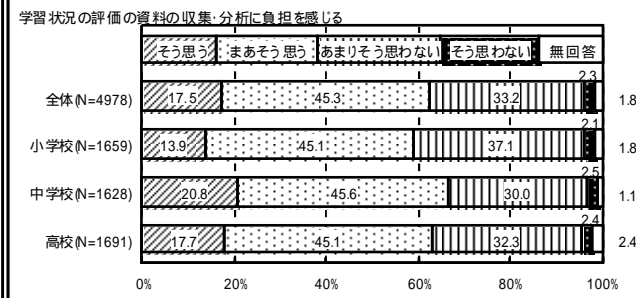
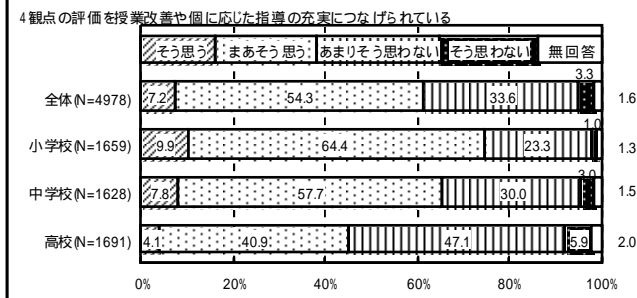
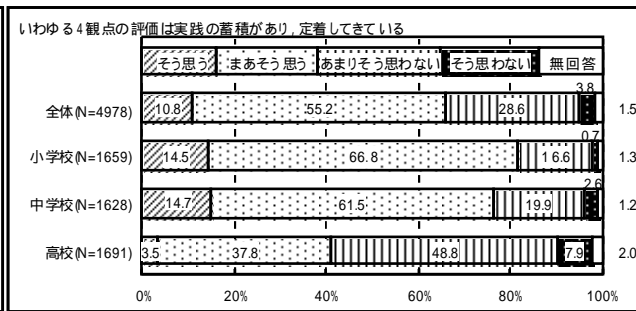
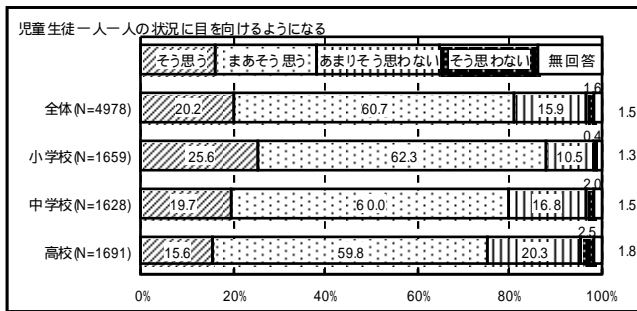
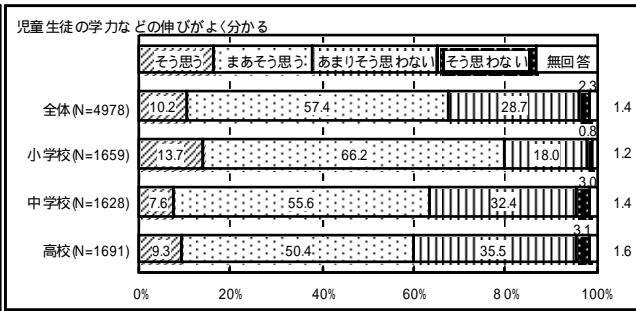
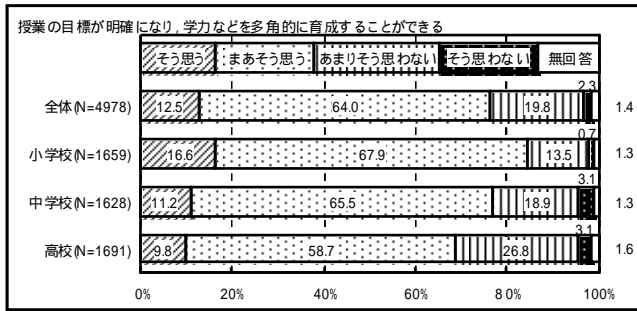
学習指導と学習評価に対する意識調査の結果について（中間まとめ速報）

1 . 「目標に準拠した評価（絶対評価）」や観点別学習状況の評価に対する 考え	2
2 . 「目標に準拠した評価（絶対評価）」や観点別学習状況の評価に対する 教員意識の変化	4
3 . 観点別学習状況の評価の実施状況	6
4 . 各教科ごとの観点別学習状況の評価の実施状況	8
5 . 学習内容の習得が不十分な児童生徒の把握方法	1 1
6 . 児童生徒の思考力、判断力、表現力等の評価方法	1 2
7 . 児童生徒の関心・意欲・態度の評価方法	1 3
8 . 学習指導と学習評価の実態	1 4
9 . 所属学校における観点別学習状況の評価の実施状況（高校のみ）	1 6
1 0 . 指導要録における「行動の記録」の記録方法に対する考え（小学校 ・中学校のみ）	1 6
1 1 . 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」として記録している事項	1 7

1. 「目標に準拠した評価（絶対評価）」や観点別学習状況の評価に対する考え

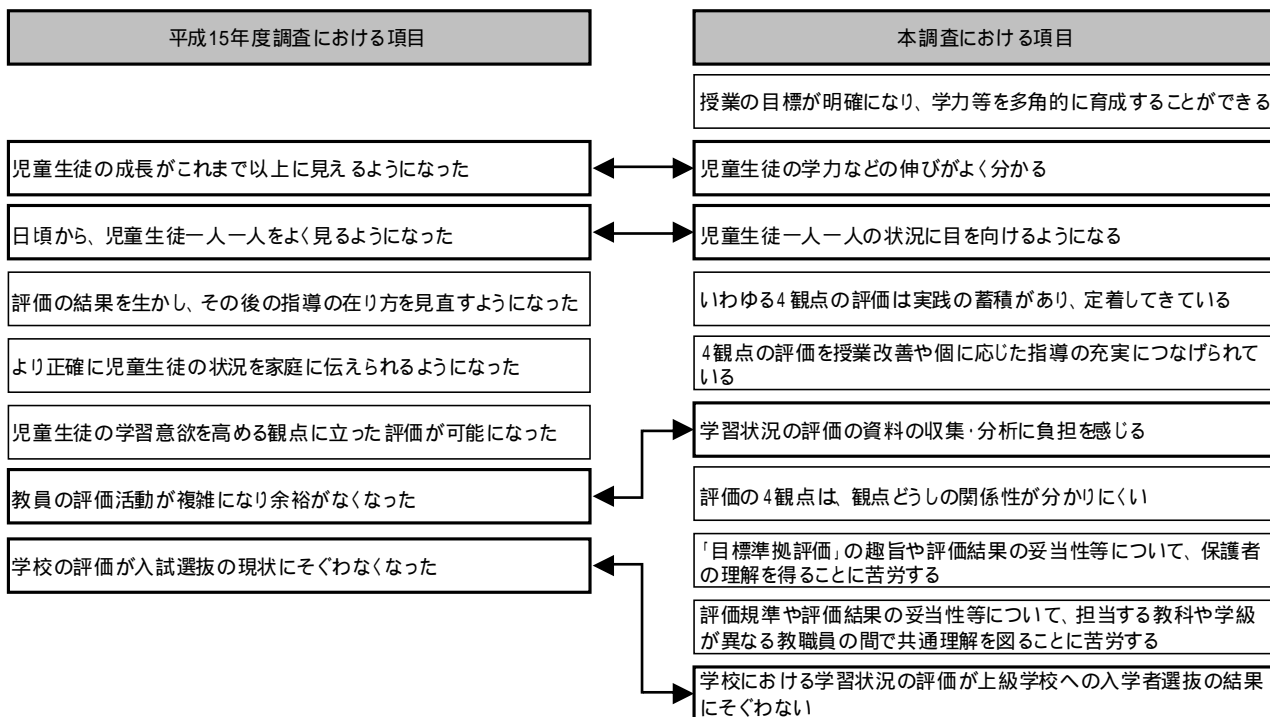


各項目について、それぞれ「そう思う」を+2、「まあそう思う」を+1、「あまりそう思わない」を-1、「そう思わない」を-2として回答を評点化した上で、各項目ごとに平均値（それぞれ無回答を除く回答者数に対する平均）を算出した。



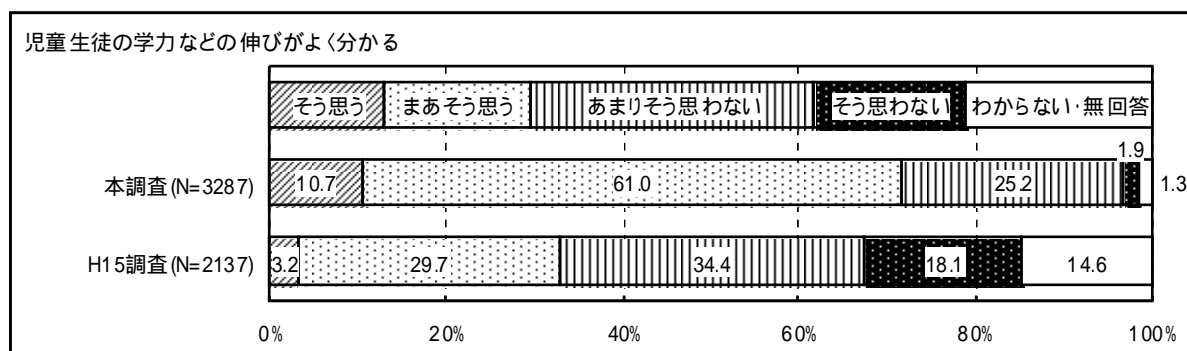
2. 「目標に準拠した評価（絶対評価）」や観点別学習状況の評価に対する教員意識の変化

「目標に準拠した評価（絶対評価）」や観点別学習状況の評価に対する教員意識の比較項目



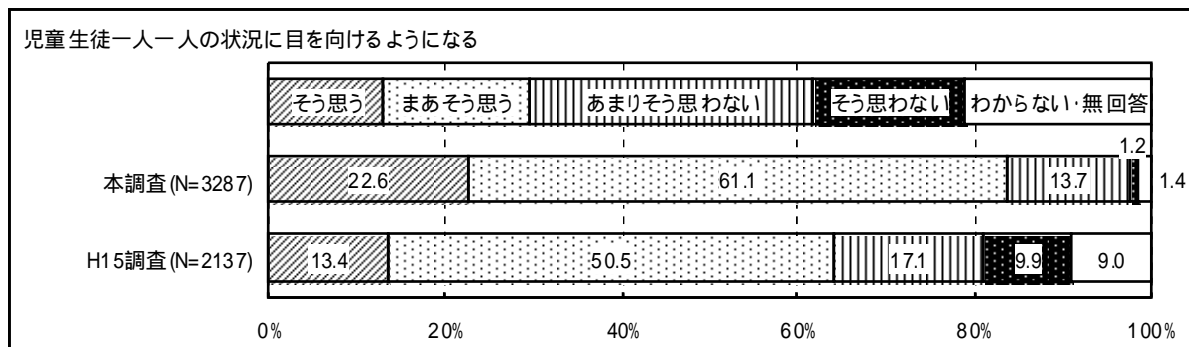
平成15年度調査では、各項目について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」「わからない」の5つからあてはまるものを選択させているが、本調査では「わからない」は選択肢として設けられていないため、平成15年度調査の「わからない」の割合は無回答と合計して本調査と比較した。

「児童生徒の学力などの伸びがよく分かる（児童生徒の成長がこれまで以上に見えるようになった）」



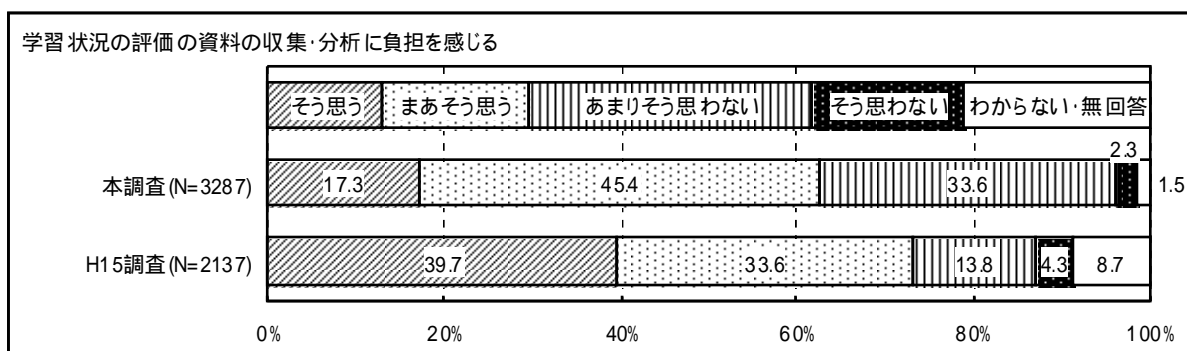
本調査のデータは、小学校及び中学校の教員の回答のみから再計算したものである。

「児童生徒一人一人の状況に目を向けるようになる（日ごろから児童生徒一人ひとりをよく見るようになった）」



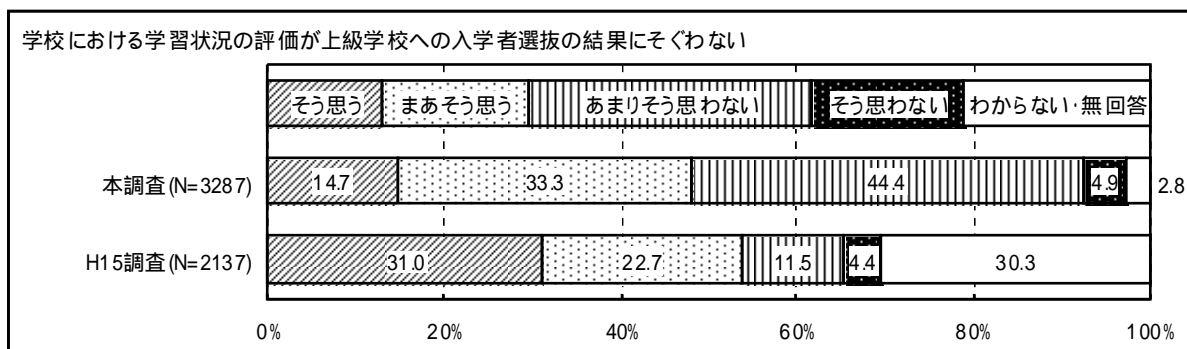
本調査のデータは、小学校及び中学校の教員の回答のみから再計算したものである。

「学習状況の評価の資料の収集・分析に負担を感じる（教員の評価活動が複雑になり余裕がなくなった）」



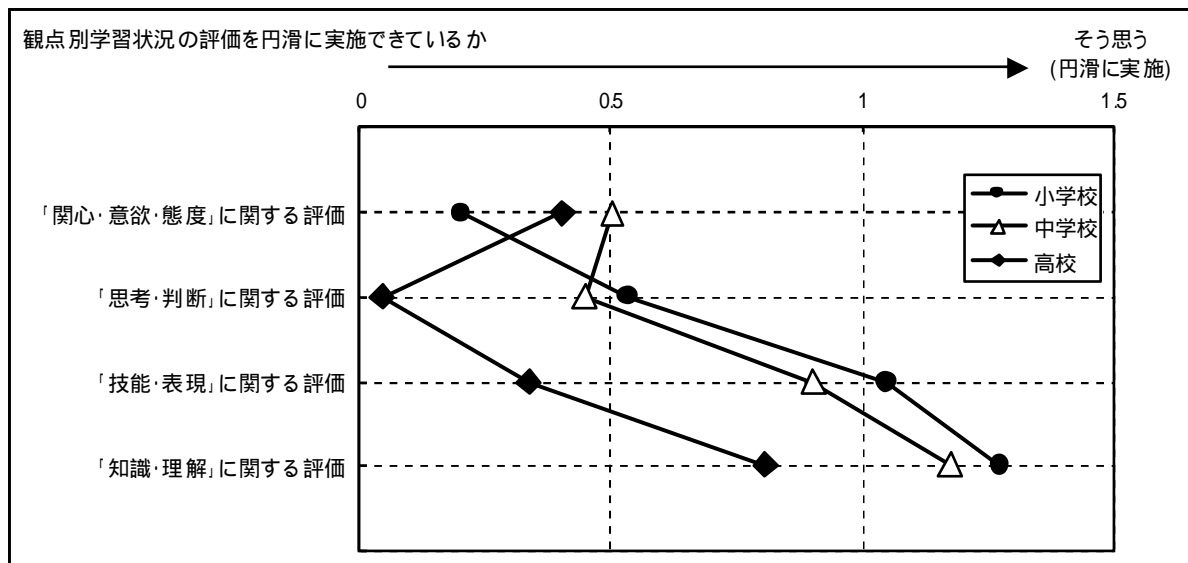
本調査のデータは、小学校及び中学校の教員の回答のみから再計算したものである。

「学校における学習状況の評価が上級学校への入学者選抜の結果にそぐわない（学校の評価が入試選抜の現状にそぐわなくなった）」



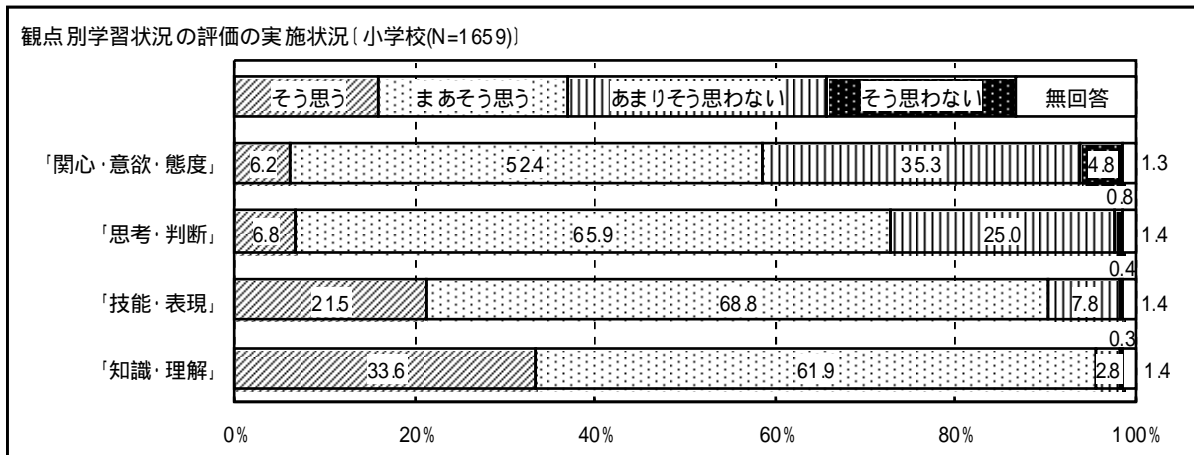
本調査のデータは、小学校及び中学校の教員の回答のみから再計算したものである。

3. 観点別学習状況の評価の実施状況

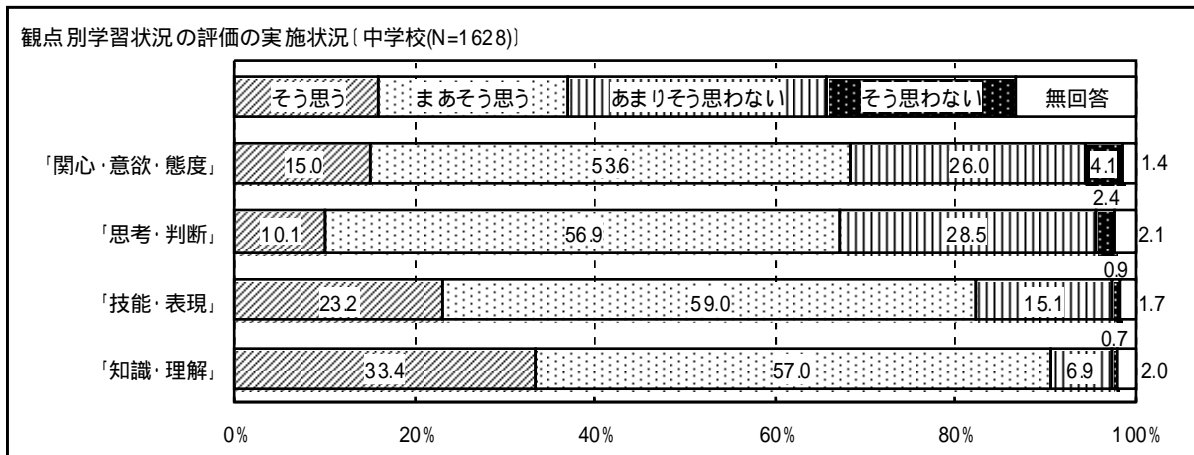


各項目について、それぞれ「そう思う」を+2、「まあそう思う」を+1、「あまりそう思わない」を-1、「そう思わない」を-2として回答を評点化した上で、各項目ごとに平均値(それぞれ無回答を除く回答者数に対する平均)を算出した。

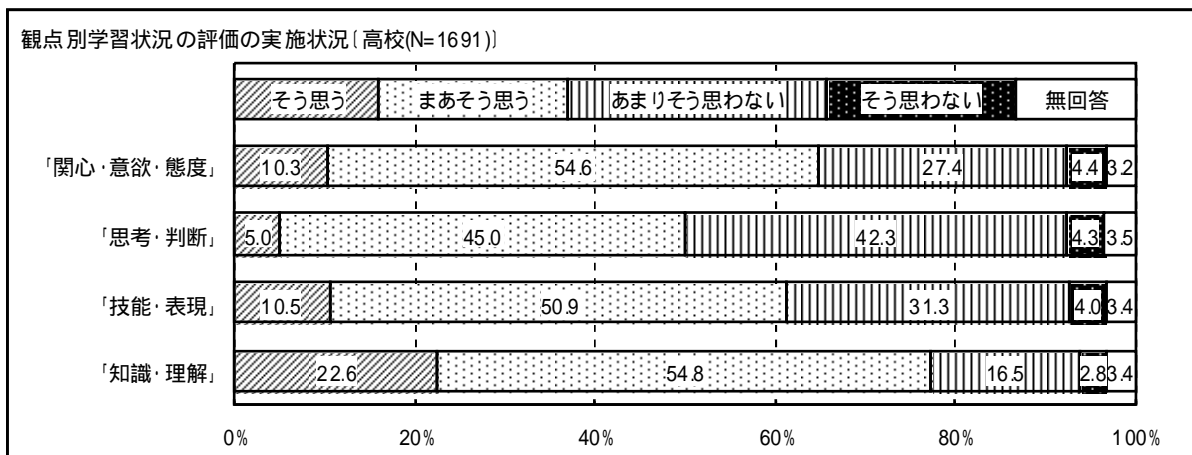
小学校



中学校

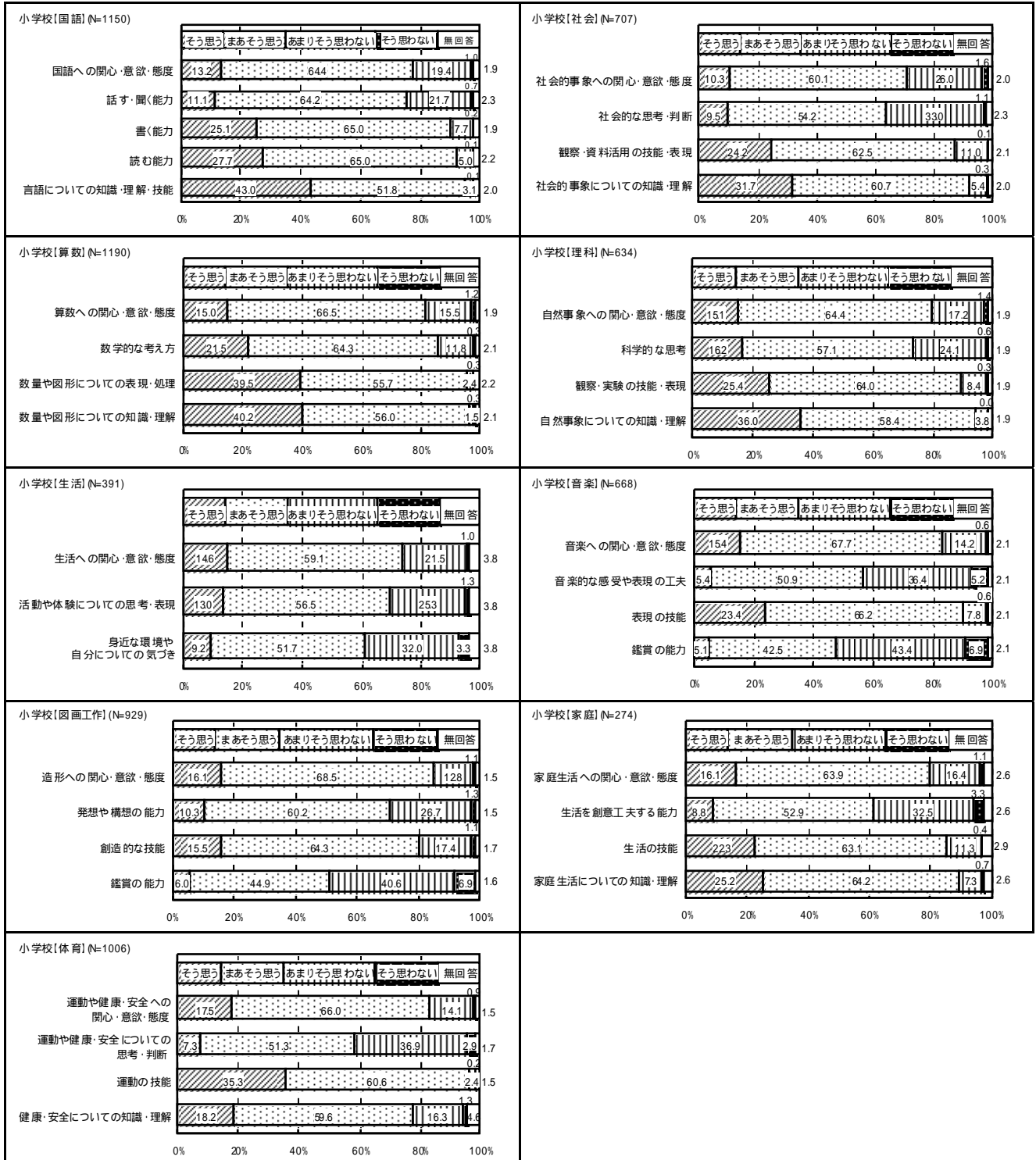


高校

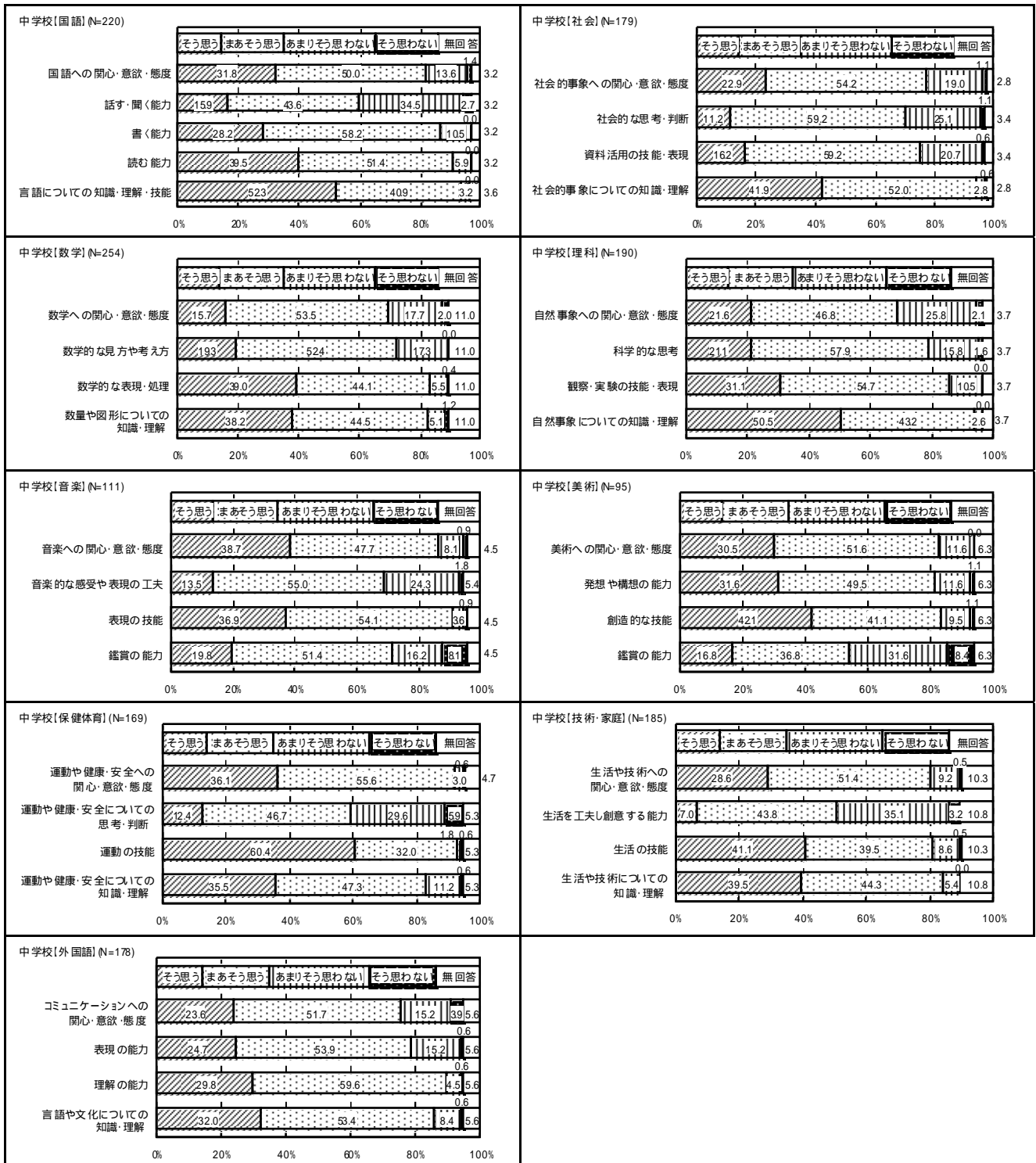


4. 各教科ごとの観点別学習状況の評価の実施状況

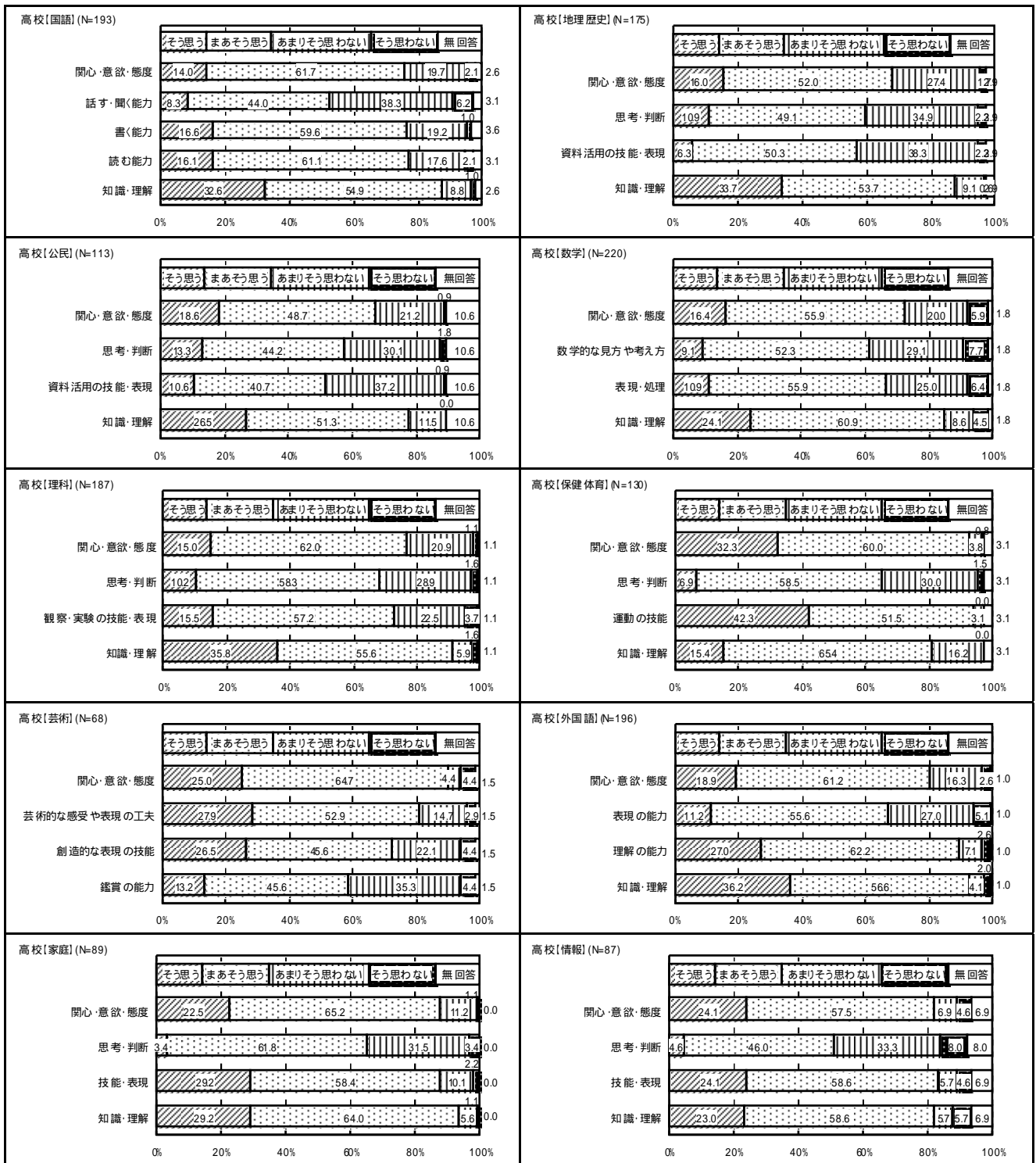
小学校における各教科ごとの観点別学習状況の評価の実施状況



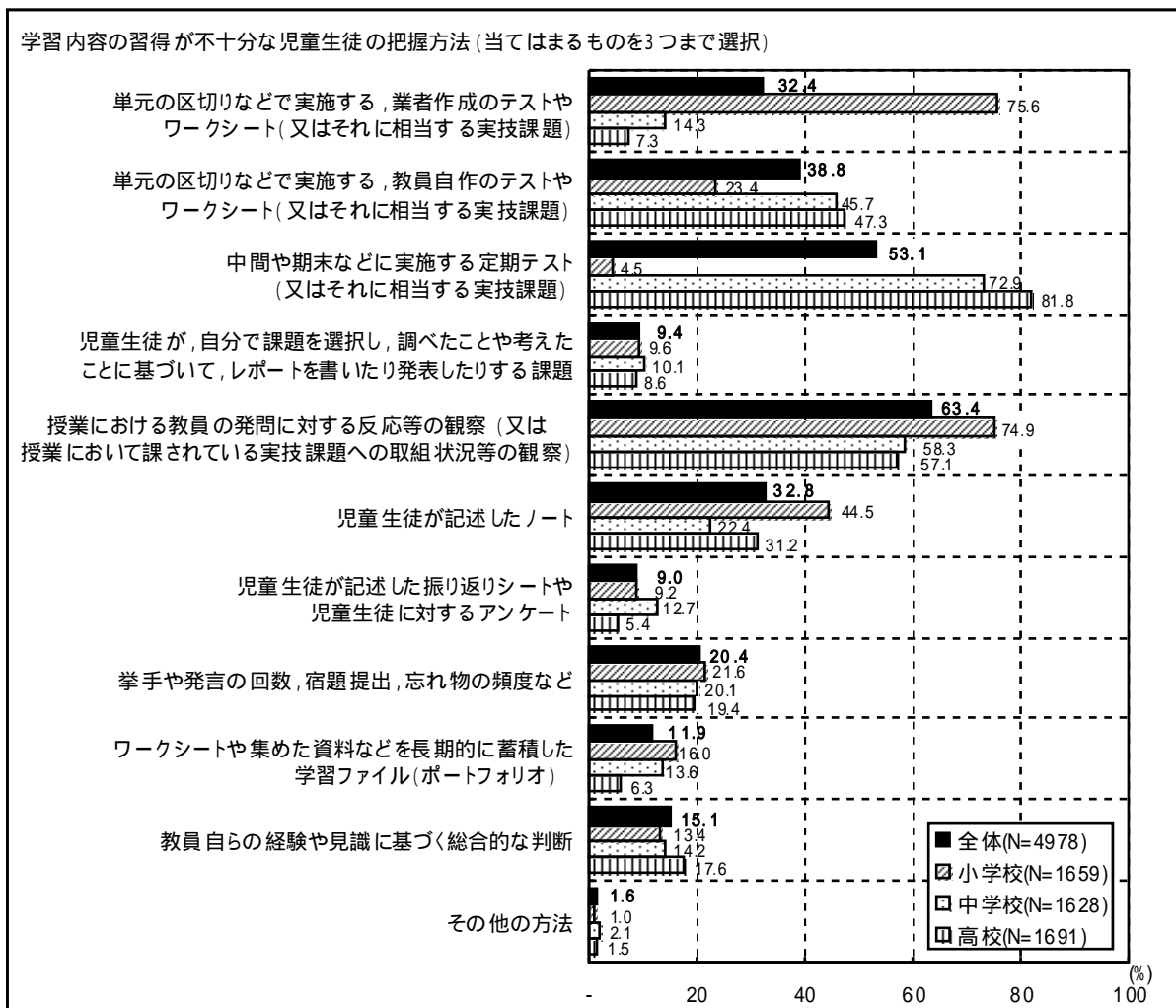
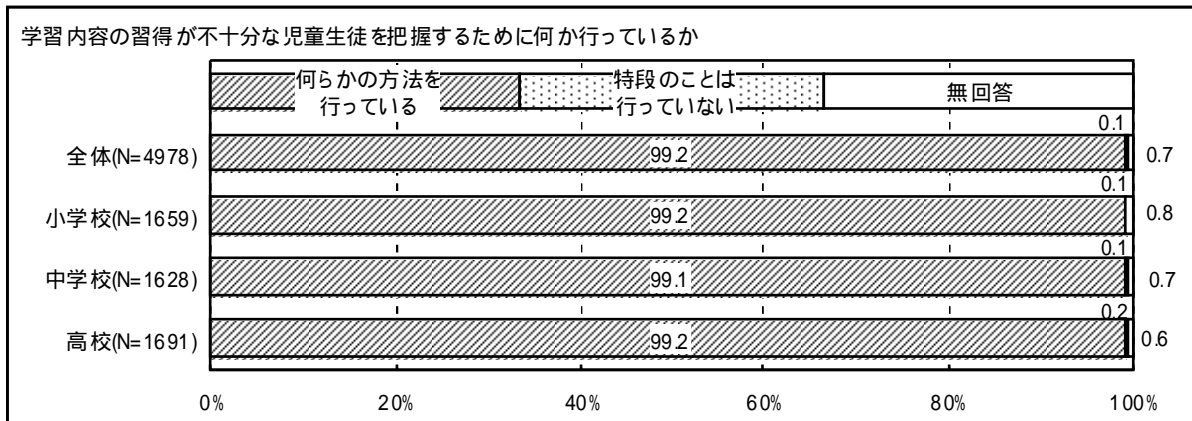
中学校における各教科ごとの観点別学習状況の評価の実施状況



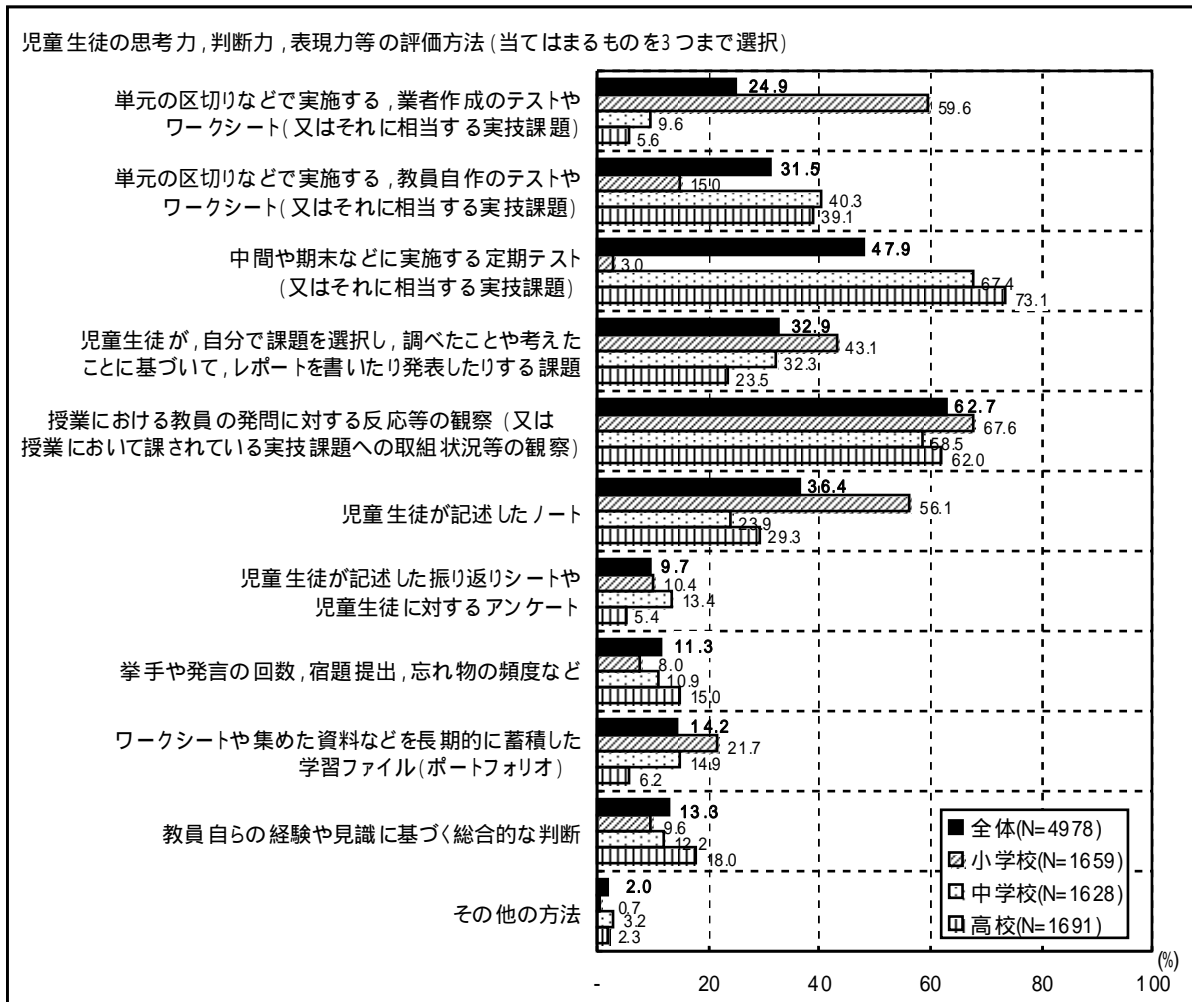
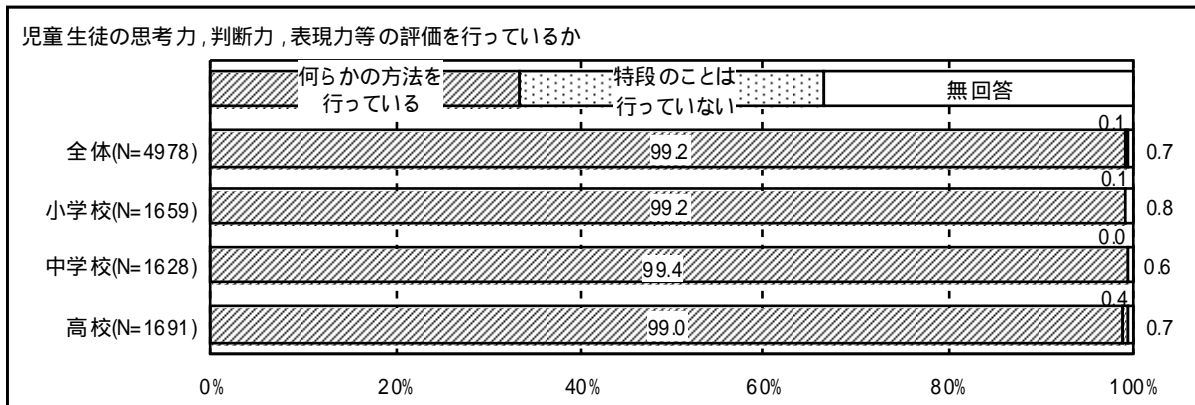
高校における各教科ごとの観点別学習状況の評価の実施状況



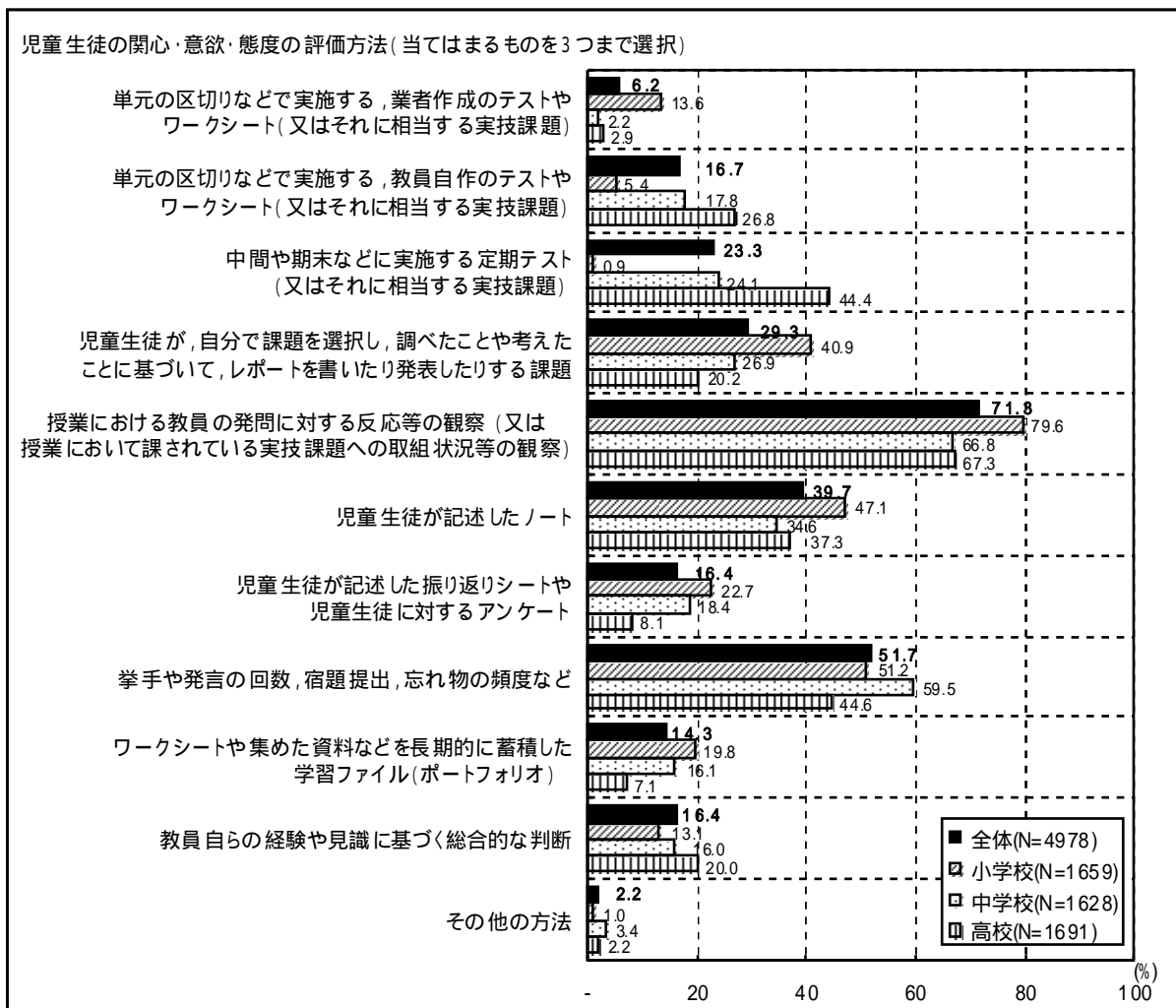
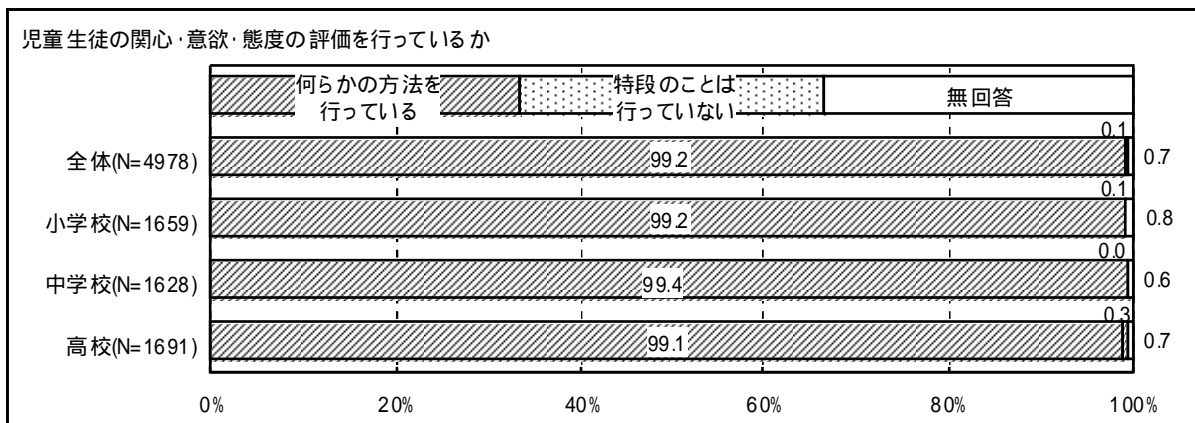
5. 学習内容の習得が不十分な児童生徒の把握方法



6. 児童生徒の思考力、判断力、表現力等の評価方法



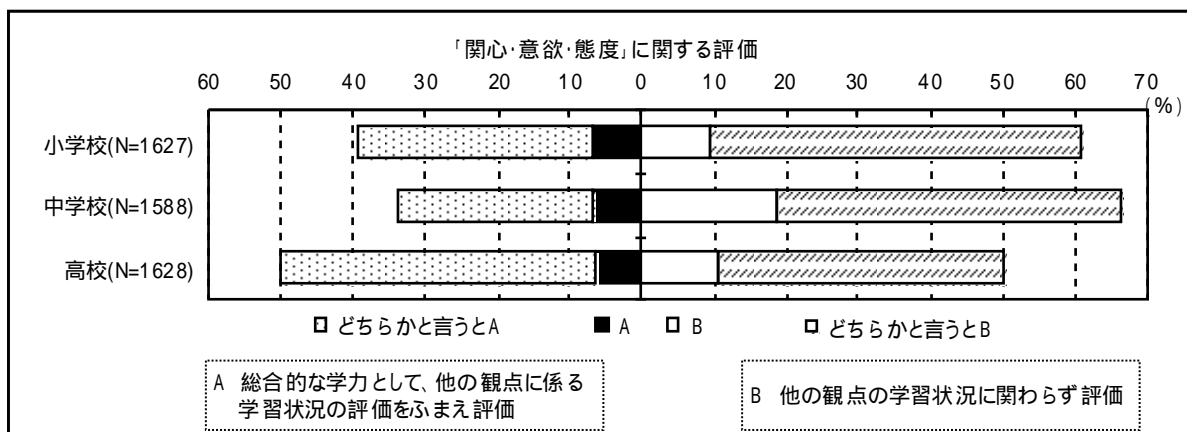
7. 児童生徒の関心・意欲・態度の評価方法



8. 学習指導と学習評価の実態

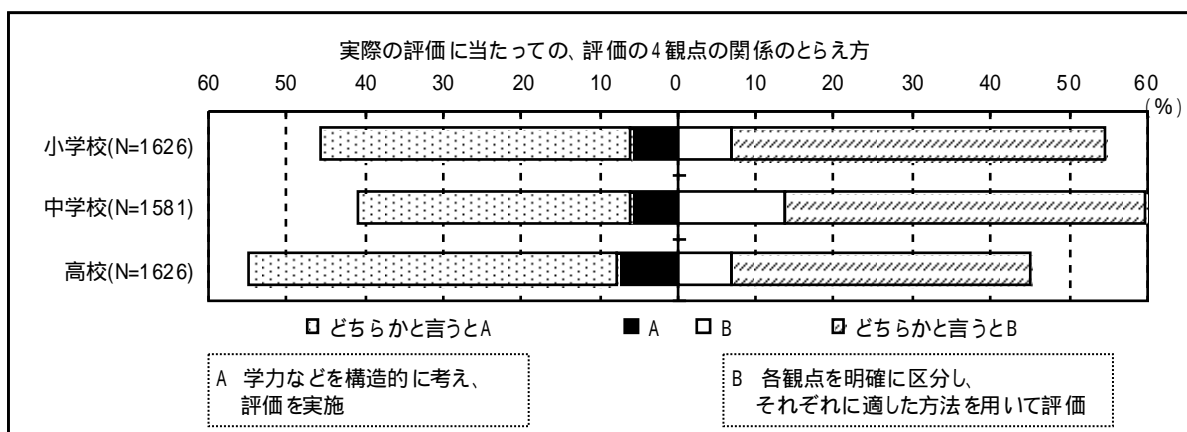
「関心・意欲・態度」に関する評価について

- A：「関心・意欲・態度」を総合的な学力として考え、他の観点に係る学習状況の評価を踏まえ、評価している。
 B：他の観点に係る学習状況は努力を要する水準でも、「関心・意欲・態度」は満足できるものと評価している。



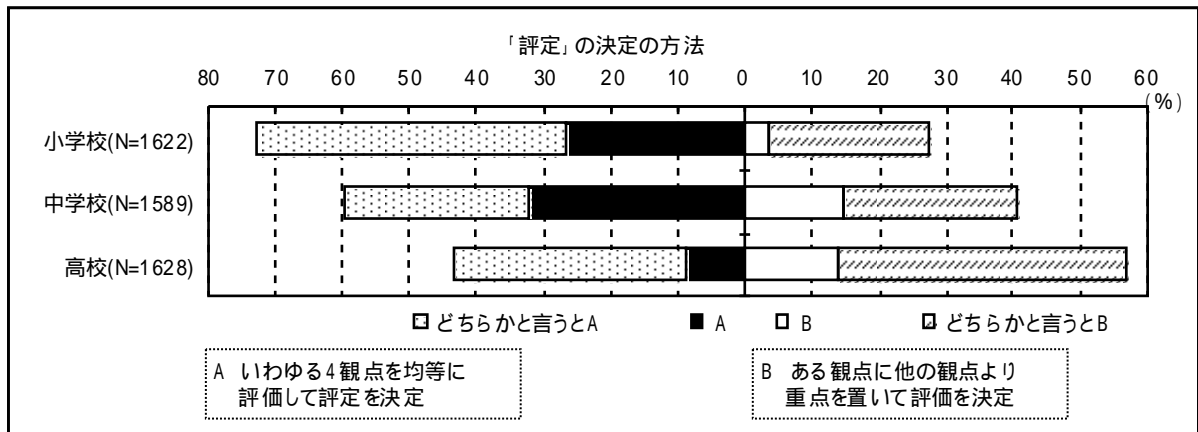
実際の評価に当たっての、評価の4観点の関係のとらえ方について

- A：学力などを構造的に考え、評価を行っている（例えば、「思考・判断」に良い評価をつける場合は、「知識・理解」や「技能・表現」が十分に満足できる学習状況にあることを前提とするなど）。
 B：各観点を明確に区別し、それぞれに適した方法を用いて評価を行うので、ある観点の評価を行うときに、別の観点のことを意識することはない。

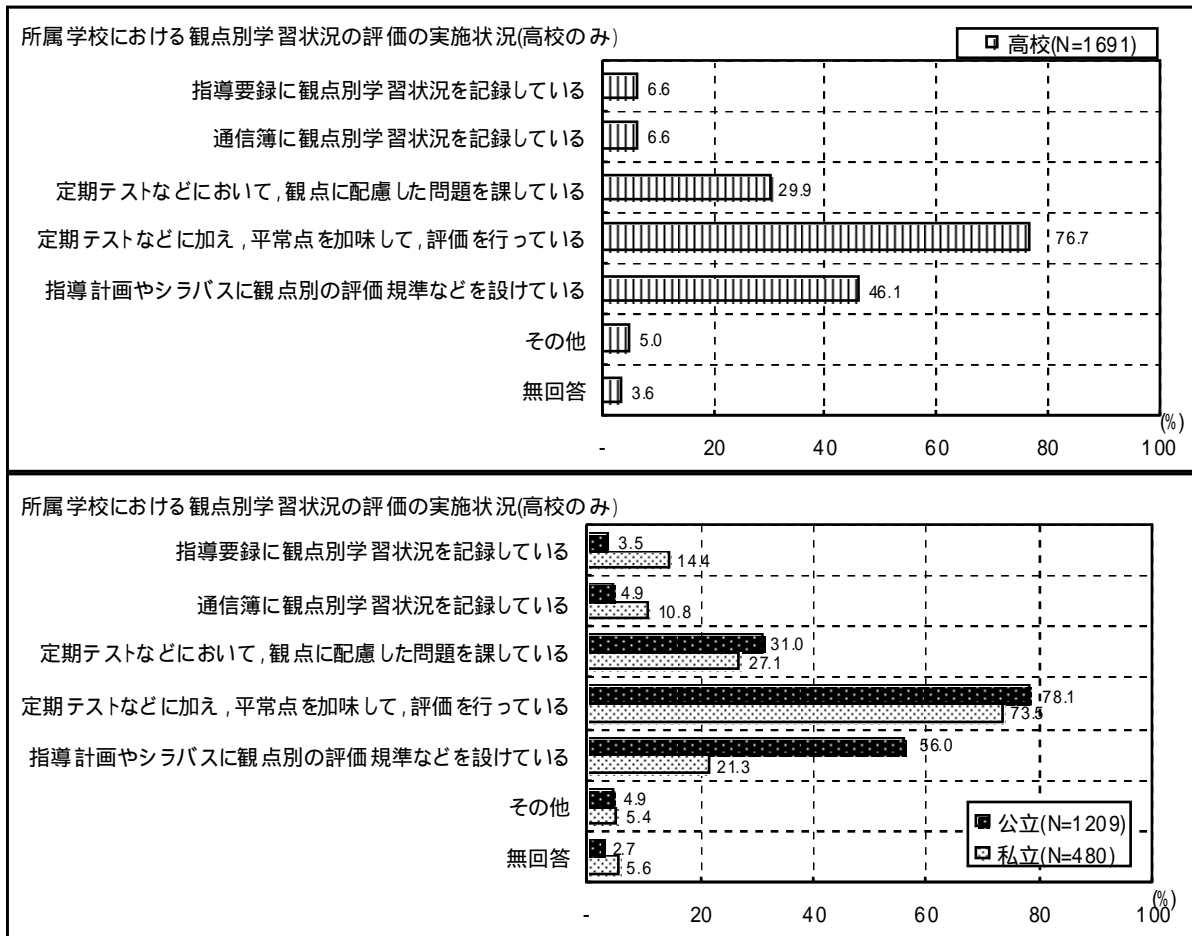


「評定」の決定の方法について

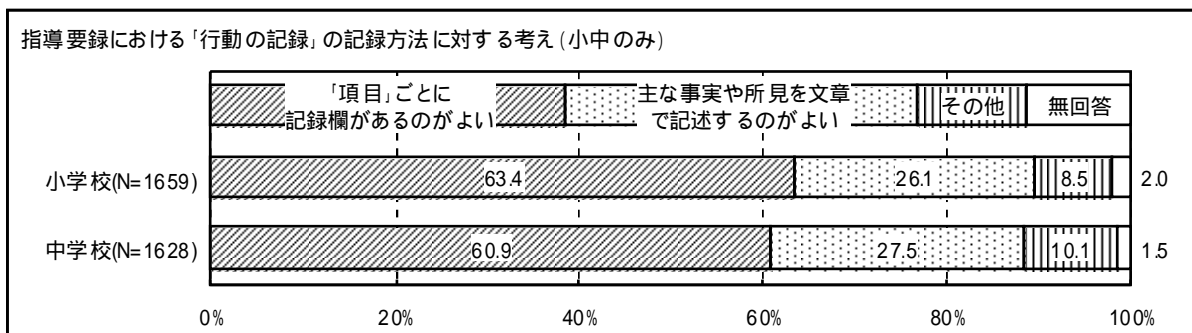
A：いわゆる4観点を均等に評価して評定を決定している。
 B：ある観点到他の観点到より重点を置いて、評定を決定している（例えば、関心・意欲・態度よりも他の観点到に重点を置くなど）。



9. 所属学校における観点別学習状況の評価の実施状況（高校のみ）



10. 指導要録における「行動の記録」の記録方法に対する考え（小学校・中学校のみ）



11. 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」として記録している事項

